

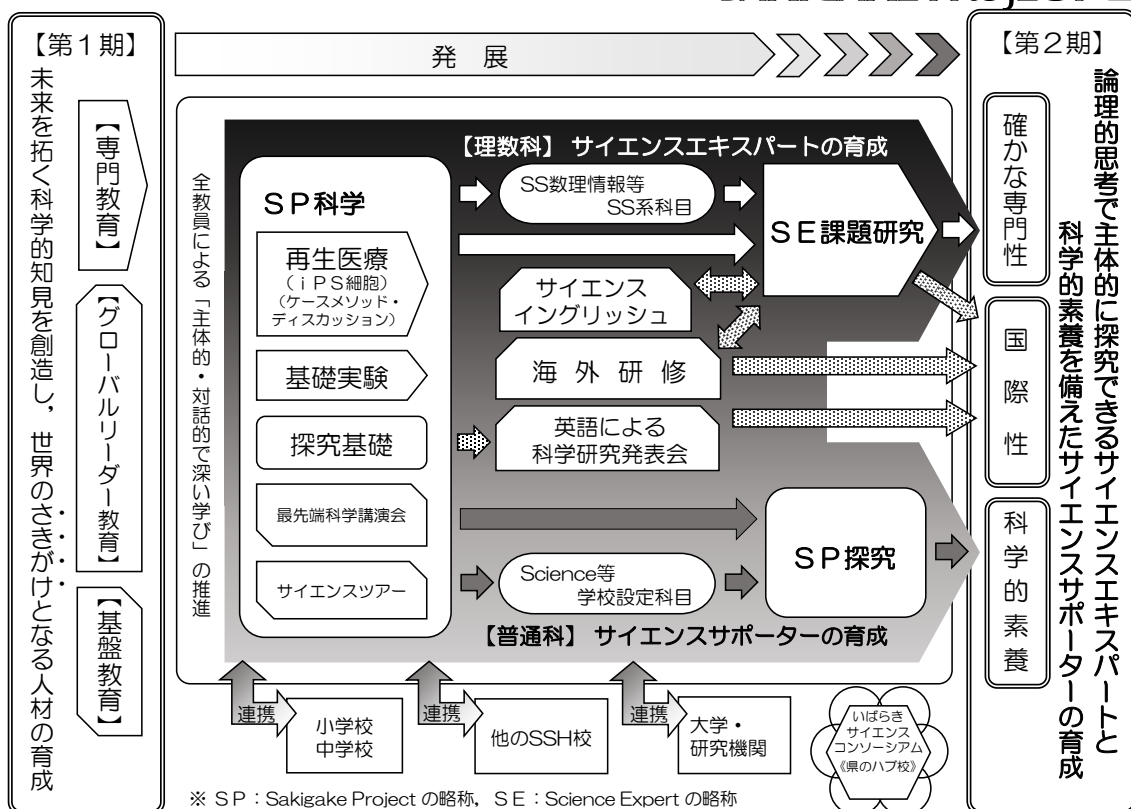


Super Science High School News

文部科学省よりSSHの指定を受けた学校では、科学技術系人材の育成のため、各学校で作成した計画に基づき、独自のカリキュラムによる授業や、大学・研究機関などとの連携、地域の特色を生かした課題研究など様々な取り組みを積極的に行っています。本校は平成25年度より5年間の指定を受け、平成30年度からは2期目として「論理的思考で主体的に探究できるサイエンスエキスパートと科学的素養を備えたサイエンスサポーターの育成」を目指して、カリキュラムや指導法の研究開発に取り組んでいます。

茨城県立緑岡高等学校 SSH 第2期 概念図

SAKIGAKE PROJECT II



SP科学

1年生全員が取り組む科目です。この時間で再生医療について班ごとにまとめたり、サイエンスツアーの準備やレポート作成、ポスター発表を行ったりします。後期には、2年生で取り組む「SP探究」に向けての準備も行います。

SE課題研究

理数科2,3年生が取り組む科目です。第1期の「SS課題研究」を深化させて「研究」の大切な流れである、“仮説”⇒“実験”⇒“考察”⇒“仮説の見直し”…を重視して、「SS課題研究」をバージョンアップさせて実施します。

SP探究

普通科2年生全員が取り組む科目です。「SP科学」の内容をふまえ、自らテーマを設定しグループで探究活動を行います。2月には成果発表会（ポスター発表）を全員で行います。



1 年 総合的な探究の時間「S P 科学」始まる

今年度の「S P 科学」が始まりました。初回の6/8(月)は、全体オリエンテーションとしてSSH担当の理数部長から、この授業の目的や生徒の皆さんに身につけて欲しい力(「ディスカッション力」「プレゼンテーション力」「課題のを見つけ方」「探究の手法・進め方」)、1年間のスケジュールなどの説明がありました。

前期は特に、再生医療を題材にして調べ学習とプレゼンテーションを行うため、12日(金)には再生医療が専門である、石原先生(茨城大学教授)に講演会形式でお話をいただきました。

また、15日(月)には「質問ゲーム」を行いました。「私は何でしょうクイズ」とでも言えば想像できるでしょうか。自分に貼られた付箋に書かれたものを当てるゲームです。科学研究を行う際にも、またその成果を発表するにも、他の人とコミュニケーションをとっ

り、自分の考えや成果をわかりやすく説明したりする必要があります。このゲームは、自分に必要な情報を他の人から引き出すことがいかに難しいことなのかを「質問ゲーム」を通して経験し、そのスキルアップをはかることを目的としています。



▲貼られた付箋を見せる生徒



▲石原先生の講演



▲正解・不正解のときの質問を分析

実施計画の概要(状況によって変更の可能性もあります)

月	分野	主な実施内容
6	総合 再生医療 探究基礎	オリエンテーション 最先端の再生医療(講演会)、科学成果を伝え考える 「再生医療に関する記事を用いたミニ発表会」ガイダンス、グループ分け、調査、ポスター作成 校長講座
7	再生医療	「再生医療に関する記事を用いたミニ発表会」ポスター作成、発表 iPS細胞の観察
9	再生医療 探究基礎	再生医療関連(iPS細胞ストック)講演会、ケースメソッド データの取り扱い
10	総合 サイエンスツアー	最先端科学講演会 サイエンスツアー事前学習
11	サイエンスツアー	サイエンスツアー実施、レポート作成、ポスター作成
12	サイエンスツアー 探究基礎	サイエンスツアーポスター発表 普通科2年「S P 探究」成果発表会(ポスター発表)参加
1	探究基礎	探究とは何か 学びみらいPASS
2	探究基礎	探究テーマ検討、探究グループの構成
3		基礎実験講座【理数科決定生徒のみ】